

予算決算常任委員会報告

令和4年2月15日

ただ今から、予算決算常任委員会の委員長報告を行います。

令和4年2月8日午後1時25分及び9日午前10時から美浜町議会全員協議会室において、委員13名及び議長の出席のもと本委員会を開催し、2月8日に本委員会に付託されました議案13件の審査を行いました。

8日は説明のため、町長、教育長、各課長、局長、所長及び会計管理者の出席を、9日は町長、副町長、教育長、各課長、局長、所長及び会計管理者の出席を求めました。

また、職務執行のため議会事務局長を出席させました。

以下、本委員会で審査された主な点について申し上げます。

(1) 議案第2号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度美浜町一般会計補正予算（第7号））

総務課長より説明を受けた後、質疑に入りました。

質疑：観光振興費「美し美浜の宿」お泊りキャンペーン777万円であるが、コロナ禍で事業者支援対策としては効果があると思うが、コロナ蔓延期における本キャンペーンは、利用者に対し本当に効果的な施策なのか疑問を感じるが、行政としてはどのように考えているのか。

回答：今回は県のキャンペーンと連動する形にしており、県のキャンペーンはコロナの感染状況が特別警報レベルになれば中止となる。町のキャンペーンもそれに合わせて中止するという構成で行っている。

質疑：現在この事業は県民のみの受け入れとなっているが、県内のコロナ感染者が毎日200人以上確認されている状況であり、中断するなど事業者に対して直接支援する等の考えはないのか。

回答：この議案は、コロナ感染症が比較的収まっていた12月16日に、少しでも多くの方に美浜町に来ていただき活性化に繋がりたいと考えて専決処分したものである。現在は感染者の大きな増加がみられ、国・県も縮小や停止をしており、状況に応じて判断しながら経済の活性化に努めたい。

また、売上が3割以上落ち込んだ事業者に対しては、事業継続のための給付金を美浜町独自で県に上乘せして給付しており、ご理解いただきたい。

質疑：新型コロナウイルス感染症対策費の「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業1億216万円」であるが、いつ対象世帯に確認書を送付し振込みはいつ頃になるのか。

回答：確認書は1月25日に発送しており、1回目の振込みは2月21日月曜日を予定している。

(2) 議案第3号 令和4年度美浜町一般会計予算

総務課長より説明を受け、質疑に入りました。

<町の予算概要>

質疑：町税（充当額）の状況についてであるが、町税全体に対する関西電力の固定資産税の割合が、令和3年度の72%から73.24%に増加したということだが、これは美浜発電所の償却資産が増加したことに起因するのか。

回答：美浜発電所の安全対策工事で、償却資産の増加により2億4000万円程度の固定資産税の増収を見込んでいる。

質疑：コロナ対策交付金として、自治体が住民に灯油代（福祉灯油）を給付した場合に、国が半額程度を助成すると言われており、高浜町では5,000円の燃料券を配布する事業が行われているが、美浜町ではこのような補助は考えていないのか。

回答：美浜町でも、過去にひとり親世帯や低所得者を対象に支給した実績があり、適宜状況を見ながら考えていきたい。

質疑：福祉灯油に関しては、坂井市、福井市、永平寺町等で実施されており、坂井市は1世帯1万円である。オール電化が広がり、灯油は困窮家庭での使用割合が多いので、福祉政策の一環という意味でも是非美浜町も実施していただきたい。また、農業者や漁業者等においても、原油価格の高騰で困っていると思うので、財源の豊かな美浜町においても、是非手厚い支援事業を行っていただきたい。

回答：原油高騰は大きな負担となっているので、状況を見ながら対応していきたい。

<議会費から総務費>

質疑：議会運営の改善のため「議場への大型ディスプレイの設置」や「インターネットへの議会の映像配信」等を希望していたが、本予算では「議場音響システム改修工事実施設計業務委託料」133万円が計上されているのみである。その理由は何か。

回答：昨年度より音響に不備があり、その対策のための音響システムの改修に伴う実施設計を委託する費用である。映像配信等については、基本的な方針を検討後に計画したい。

質疑：議会はタブレットが導入されペーパーレス化が進むが、議場における傍聴者も大型画面等で視聴できるのが本来の姿だと思う。費用面では高額となるが行政としての考えをお聞きしたい。

回答：議場への大型画面の設置や、議会のインターネットでの映像配信等については、傍聴者等のニーズや必要性等をよく調査する必要がある。令和4年度については、そのような使い方も踏まえて、音響部分をしっかり整備したい。

要望：昨年2社から「音響設備を全て更新し、同時にインターネットへの議会の映像配信等を行う場合」の見積もりとシステムの説明を受けた。DXが叫ばれ、当町でも情報化推進室を設置して進めている訳で、つぎはぎではなく、しっかりした最終的な姿と方向性を設定して進めていただきたい。

質疑：公共交通運行事業の3800万円は、旧北田バス待合室を撤去する費用も含まれてはいるが、利用者減少の中で運営経費が膨らんでいる。行政は今後の方向性をどのように考えているのか。

回答：平成20年には3万人あった利用者が、既に1万人を切っている状況で、財政の健全化の面でも大変重要な課題と認識している。また令和6年の春には北陸新幹線の敦賀開業ということで、観光も視野に入れた形での公共交通全体の見直しを考えている。来年度は、利用者アンケート、町民や観光客等のニーズ調査や分析をしっかりと行い、コロナ禍、新幹線開業、道の駅開設等の新たな要素を考慮した、地域公共交通のマスタープランを作る。

質疑：地域生活交通活性化事業として719万円が計上されているが、会議費として700万円の負担金が必要な理由は何か。

回答：これまで県と嶺南市町合同で「嶺南地域公共交通網形成計画」を作成してきたが、令和2年の地域公共交通活性化再生法の改正により、各市町村でもこれを行うことになっているところであり、更に国がこれらを法定の協議会（公共交通会議）と位置付け会計を持つことになったため、そこでの計画策定に必要な費用として700万円を負担することになった。

質疑：計画策定は業務委託になるのか。

回答：業務委託を考えている。

質疑：福井ふるさと茶屋整備支援事業3,120万円であるが、そのしくみとどのような要件が整えば、これだけ大きな事業ができるのかをご教示願いたい。

回答：この事業は、県の新福井ふるさと茶屋支援事業を受けて実施をするもので、採択の条件となるのは、①地域住民のつながり強化ということで、高齢者や農家の主婦グループなどが集まり、みんなで行う活動、住民への歴史・文化

の伝承活動など、そして②地域の資源を活用したコミュニティ・ビジネスということで、農産物の加工直売などを実施することによって、対象とされる。

質疑：移住・定住促進事業3, 920万円は、人口減少対策として重要な事業であるが、県外へ出ている人にIターン、Uターンを呼びかける方法として、どのようにPRしていくのかお聞きしたい。

回答：ホームページ等で広報させていただくと同時に、県の方でもそのような取組等をしており、国の補助金等も入っているので、国の支援制度や広報等も活用している。

質疑：美浜町職員「人財」育成事業428万円であるが、美浜を愛する職員を育てることが目的と思うが、これまで頑張っていた職員が辞められたりするのを見てきている。辞められる理由はいろいろあると思うが、こういう事業を行って来て、元気な職員や美浜を愛する職員をしっかりと育てられているのか、この事業との整合性をどのように考えているのか伺いたい。

回答：この研修で現在取り組んでいる内容は、管理職、補佐、主査、主事等の役職に応じ、人事評価、ハラスメント、デジタル化、コミュニケーション能力、待遇等の研修である。今後のご指摘のとおり、途中で退職される方の増えていることから、専門家の意見等も聞き、仕事に対するモチベーションを上げる研修も進めていきたい。

要望：職員を削減し合理化を望む町民もいるが、住民サービスを低下させずに維持していくためには、正職員の確保は大切と考える。このような育成事業でしっかりと職員を育てていって頂きたい。

質疑：エネルギービジョン推進事業1,623万円であるが、これはもともとエネルギー基本計画に基づいて進めていると考えるが、それとは別に調査委託をするための経費なのか、基本計画との関係をお聞きしたい。

回答：今回の調査は、昨年度改定した美浜町エネルギービジョンと同事業化計画に基づき取り組むものである。PPAとは、建物所有者の敷地や屋根等に事業者（PPA事業者）が太陽光発電設備と蓄電池を設置し、発電された電力を建物所有者に有償提供する仕組みのことで、「公共施設PPAモデル導入可能性調査」では、災害時における電源確保を目的に、公共施設や集落センター等へのPPA方式による太陽光発電設備や蓄電池の設置ができないか等、導入可能性について調査するものである。また、「再生可能エネルギー有効活用調査」では、公共施設に設置された再エネ設備の余剰電力を他施設で活用できないか調査するものである。

質疑：どこまで可能性調査を実施するのか知りたいし関わりたい希望もある。もう少し具体的に、ターゲットにする部分をご教示頂きたい。

回答：今回の調査では、対象施設の選定や電力需給、余剰電力の把握等について調査を行い、施設への導入の可能性について検討するものである。しっかり取り組んでいきたい。

要望：もう少し具体的に、どの地域でどのような再エネ事業が可能なのかを調査し、地域で話し合えるところまで踏み込んで頂きたい。

質疑：美浜ふるさと納税推進事業1億3,415万円であるが、敦賀市は桁違いのふるさと納税がある。敦賀と美浜での大きな相違点は、敦賀では物産の生産企業がそこで働く移住者の部屋を用意するなど、移住・定住等の協力をしていることだと思う。美浜はどのようなビジョンを描いているのかお聞きしたい。

回答：敦賀市は、さちふるという業者が中間に入り、物産の生産業者とのやりとりをしていることもあり、美浜町としてもそうした方法を視野に入れて検討し、寄付額を増やしたいと考えている。

質疑：新型感染症予防事業3,617万円であるが、美浜町のワクチン接種の現状についてお聞きしたい。

回答：3回目接種が開始され、2月4日時点で町内303人の方が3回目を接種済である。これは、町内の18歳以上の対象人口約7,200人の約4.2%に相当する。3回目接種は、個別接種が2月7日から本格開始された。最近、県と国がモデルナ社製の安全性をPRしたことで、2月末のモデルナ社製ワクチンの集団接種についても、予約枠はほぼ埋まった状態である。

<民生費から労働費>

質疑：敬老会助成事業819万円であるが、美浜町に住所を有していることが条件となっており、やむを得ず町外の施設に入居されたことで、これまで地域や町に貢献された方が、対象から外れるケースが多々あるが救済できないのか。

回答：町外の施設に入居されている方がどの程度おられるのか、十分に把握は出来ていないが、今後検討していきたい。

質疑：老人クラブ活動等社会活動促進事業362万円であるが、この補助金で町老連は運営しているが、近年町老連から脱退した地区や脱退したい地区が増えているようだが、町としてどのような要因があるのか分析しているか。

回答：町老連から脱退地区があると聞いているが、どのような事情かは聞いていないし分析まではしていない。ただ、高齢者の方ができる限り自立し、生きが

いを持って安心して生活して頂く活動の一つとして、非常に重要だと思っている。また町老連への参加について、いろいろなご意見を頂いているが、時代によって形を変えていかざるを得ないと思う。その一つにあいあいポイント事業の強化やシルバー人材センターの活用、併せて町老連の活性化等、時代に応じていろいろな方策を講じながら、知恵を絞って取り組んでいきたいと思っている。

質疑：病児デイケア促進事業の350万円は、敦賀市への事務委託経費であるが、美浜町民の利用実績はどの程度あるのか。

回答：令和2年度では延べ人数が3名、令和3年度は10月までで1名である。広報に問題がある可能性があるので今後強化していきたい。

質疑：福祉支援センターあいばる管理運営事業1,568万円であるが、利用者は増加傾向だと思うが、定員を含めて問題は生じていないのか。

回答：最近の運営状況は順調であり、事業収入についても毎年伸びている。課題は、保育士、作業療法士、言語聴覚士等の専門職の確保が難しいということである。

質疑：ごみスマートチャレンジ事業252万円は、家庭での生ごみ処理機等の購入補助金とプラスチック代替製品の利用促進補助金であるが、具体的な説明をお願いしたい。

回答：これまでのエコクル美方では、生分解ごみ袋を利用した堆肥化ができたが、4月1日からの敦賀市との共同処理では出来なくなり、環境政策としては一歩後退になることから、その代替策としての購入補助である。また生ごみは重く燃えにくいので、ゴミ減量の意味でも家庭内でのコンポスターを使用した生ごみ処理を促進したい。さらに弁当容器、フォーク、ストロー等のワンウェイプラスチックを代替品にすると価格がアップするため、その差額を補助して導入を促進したい。

質疑：美浜の子供を産み育てる支援事業や子育ての支援事業は、他の市町で行われているものばかりで、町の独自色のある施策・支援があまり見えない。移住・定住の大きな魅力になる施策が必要と思うが考えを伺いたい。

回答：みはママサポート事業の中で、受診サポート事業や産婦健診等の独自事業がある。出産お祝い金等の一時金も検討する余地はあるとは思いますが、赤ちゃん家庭の全戸訪問、育児教室等々のソフト面での充実を図っている。

また、美浜では「美浜ほっと子育て応援プロジェクト2022」を作成し、生育する段階・段階に応じたきめ細かな対応をしており、ご意見は拝聴するが、

そのような部分を評価して頂きたいと考える。子育て中のお母さん方からは「美浜は他の市町に比べて温かい子育て支援をしてくれる」と聞いている。

<農林水産業費から商工費>

質疑：有害鳥獣対策事業2, 332万円であるが、最近では鹿、猪の被害はかなり減少傾向にあるが、猿の被害が増加している。現状、猿についての捕獲頭数と被害の状況やそれらの関係がどのようになっているかについてお聞きしたい。

回答：最近まわりを見ても、猿の出没回数は減っているとは感じている。しかし現在の対策は地獄おり等で捕獲しており、それではなかなか対応し切れない状況である。

要望：捕獲頭数や被害額等も大事ではあるが、高齢者が楽しみで細々に行っている家庭菜園が荒らされると、その元気もなくなってくる。農業の振興にもつながる大きな問題であり、しっかり対応をお願いしたい。

質疑：松くい虫被害特別対策事業234万円と、松くい虫被害総合対策事業443万円であるが、一般財源を使用してまで防除を継続する必要があるのかお聞きしたい。

回答：今回は空中防除を一旦取りやめ、調査費等を計上している。従来行っていた空中防除の効果はあると考えるが、以前から枯れている松が撤去されていないため、効果の確認がしづらい面もあり、まずは枯れた松の伐採・撤去を進めながら様子を見たいと考えている。

質疑：内水面漁業振興事業1, 132万円であるが、三方五湖は地域の宝物である。久々子湖のシジミは美味しいと評判がよく、またシジミの水質浄化力は大きいので、そこを組み合わせると水質の透明度を上げれば、人を呼び込む大きな成果が出るのではないかと思うがどう考えるか。

回答：「三方五湖は景観がきれい、近くへ行って水質もきれい」であることが、次につなげていく重要な要素だと思っている。これまで、三方五湖再生協議会を設置し、若狭町と美浜町、関係団体や県を含めていろいろな取り組みを展開しており、今後も水質も含めて自然景観、環境がきちんと再生できるように、継続的に取り組んでいきたい。

質疑：シジミのブランド化事業補助に100万円が予算計上されているが、推進だけではなく生産量の確保が重要である。対策はできているのか。

回答：シジミが育つ砂場を造成して稚貝を放流し、宍道湖で経験のある研究員の指導も得て、地元の漁協と相談しながら進めている。

質疑：民宿活性化事業6，333万円であるが、支援先予定事業者が8事業者であり、1事業者平均800万円と高額になるが、この補助を受けるにはどのような条件があるのか。

回答：部屋の内装や外壁の改修等、そうしたリニューアルを行うためというのが条件であり、それ以上の要件はない。今回の事業費も事業者によって500万円から1,500万円のばらつきがある。

質疑：若狭湾サイクリングルート整備事業550万円であるが、久々子から日向へのルートにある路上の青い矢羽根を、片側車線から両側車線に整備する事業なのか。

回答：日向湖の西側の町道日向湖西線は、来年度に両側に矢羽根を引き、久々子から日向への県道には既に片側に矢羽根があるが、そちらについては、両側に矢羽根を整備する計画にしている。

質疑：サイクリングルートの整備は、若狭町も同時並行で進んでいるのか。

回答：敦賀から高浜まで全長123kmあるが、ゴコイチとして定着している久々子湖、日向湖、水月湖、三方湖、菅湖を周回する部分は、若狭町と連携して進める予定である。

<土木費から消防費>

質疑：おもてなし街道魅力アップ事業800万円であるが、久々子の県道は町が実施するおもてなし街道には入らないのか。

回答：この予算は、町が管理する部分が対象となる。

<教育費から職員の給与等>

質疑：小学校管理費の中の施設維持管理工事費514万円は、中央小学校駐車場の舗装と思うが具体的な場所はどこか。

回答：校舎2棟の間の職員駐車場が未舗装で、長年の懸案でありそこを舗装したい。

要望：先生にとっては、近くに車を置いて校舎に入れるが、校舎の近くには畑や緑があるべきと思う。また体育大会の時等には路上駐車が溢れており、長期的な展望に立って別途駐車場を確保してはどうか検討いただきたい。

質疑：美浜・五木ひろしふるさとマラソンの今後の継続について、賛否両論あると思うが今後の展望をお聞きしたい。

回答：町の大きな大会、スポーツ振興の一つとして実施しているので、今後の大会開催については、五木プロとも相談させていただきながら、マラソンは当面

継続したいと考えている。

質疑：昨年4月に久々子湖畔で、ライオンズクラブが後援した「美浜スプリング駅伝」という小学生対象の10周年を迎えた駅伝大会があったが、手弁当で手作り感いっぱいの素晴らしいものであり、久々子湖畔の活性化にもなるので、町としてももう少し目を向けることができないか。

回答：現在詳しくは把握していないが、連携できる部分があれば連携していきたい。

質疑：なびあす文化事業2,408万円であるが、開館して10周年を迎えると書かれているが、これまで公演事業、ピアノの活用事業、子供の文化事業、ギャラリー事業などを実施してきて、10年間の実績や経験等をどのように活かそうと考えているのか。

回答：目玉事業として、劇団四季などの日頃なかなかお呼びできないような団体にお越しいただきたいと、計画している。

質疑：10年間運営してきて、課題は何でどのように解消しようとするのか。

回答：やはり30代、40代の来館数が少ないことが課題であり、そうしたことで「若者ファンづくり事業」を立ち上げている。

質疑：スポーツまちづくり推進事業1,000万円であるが、事業内容に全日本中学選手権の視察や、全日本級や国際大会の誘致活動等が計画されているが、本予算の必要性をお聞きしたい。

回答：ボート競技を通じた交流人口の拡大、裾野の拡大、そして機運醸成というモチベーションによりまちづくりを進めていく事業である。今年度、県に対し、現在1,500メートル級のコースを2,000メートル級にできないかという要望をしており、そのために勉強したい事柄が多くあるので、役場職員やボート協会がその辺の視察をしたいということで予算計上している。

質疑：興道寺廃寺保存活用事業426万円であるが、観光開発審議会では、まだ目途のつかないこの事業も観光戦略の一つとして記載してあり、少々がっかりした次第である。文化庁、地元との協議だが、地元の方は本当に怒っているのが実情である。どうなるのかの見通しも含めて、地元にもっとしっかり説明すべきと思うが行政の見解を求めたい。

回答：今後の全体的なスケジュール感であるが、令和4年度では用地測量・農振除外を実施し、令和5年度から公有化の着手に進みたいと考えている。公有化が8割程度進んだところで、整備基本計画を実施する予定である。地元の皆さんには、丁寧に対応していきたい。

＜歳入全般＞

質疑：なし

（３）議案第４号 令和４年度美浜町診療所事業特別会計予算

健康福祉課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑：外来患者が減少したと言われているが、コロナの影響もあって、医療機関を利用する人が少なくなっているのか。要因をお聞きしたい。

回答：患者数は年々減っている傾向にあるが、過去１０年間の東地区の人口も約２７０人減っている。加えて、コロナによる受診控えやマスクと手指消毒の徹底などにより、インフルエンザや風邪症状の患者も少なかったことが要因となっていると思われる。

質疑：人口が減り、利用者も少なくなってくると、合理化の問題等で地域医療の予算が削減されていくといった不安がある。将来的な展望をお聞きしたい。

回答：へき地医療の丹生診療所に関しては、毎年医師の確保を県に要望している。特に嶺南地域には医療従事者が少ないことから、町の地域の診療所ということで、今後も医師は必要だと考えている。

（４）議案第５号 令和４年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算

住民環境課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

（５）議案第６号 令和４年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算

住民環境課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

（６）議案第７号 令和４年度美浜町介護保険事業特別会計予算

健康福祉課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

(7) 議案第8号 令和4年度美浜町簡易水道事業特別会計予算

上下水道課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑：上水道統合整備事業7,161万円であるが、これは耳川の上水道を菅浜まで送水する管布設工事経費だと思うが、簡易水道事業経費で実施していると解釈すればよいのか。

回答：上水道の水を簡易水道へ送水し、使用するため簡易水道事業費で処理するものである。

(8) 議案第9号 令和4年度美浜町集落排水処理事業特別会計予算

上下水道課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

(9) 議案第10号 令和4年度美浜町公共下水道事業特別会計予算

上下水道課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

(10) 議案第11号 令和4年度美浜町産業団地事業特別会計予算

産業振興課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑：山上の産業団地に、今後誘致できる企業があるのか。また町長によるトップセールス等が行われているのかお聞きしたい。

回答：コロナ禍ではあるが、数件企業訪問を実施している。

現在9区画ある内の5区画が売れ、残り4区画ということになるが、エア・ウォーター防災の隣の用地は、エア・ウォーター防災が使いたいとの意向があったため、現在確認中である。またその隣の区画も引き合いがあり、現在返事待ちという状況である。

(11) 議案第12号 令和4年度美浜町住宅団地事業特別会計予算

土木建築課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑：西小学校前の金山住宅分譲地を整備するということだが、農地の部分ではないのか。また、町営の平家建ての住宅付近なのか計画をお聞きしたい。

回答：西小学校とみずうみ保育園の間に、宅地造成された8区画があり、その北側の空き地を予定しており、農地でなく宅地になっている。

(12) 議案第13号 令和4年度美浜町道路用地取得事業特別会計予算
土木建築課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

(13) 議案第14号 令和4年度美浜町上水道事業会計予算
上下水道課長より説明を受け、質疑に入りました。

質疑はありませんでした。

以上の審査を終え、委員会採決を行いました結果を報告いたします。

(1) 議案第2号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度美浜町一般会計補正予算（第7号））
は全員賛成をもって承認することに決しました。

(2) 議案第3号 令和4年度美浜町一般会計予算
は賛成多数をもって承認することに決しました。

(3) 議案第4号 令和4年度美浜町診療所事業特別会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

(4) 議案第5号 令和4年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

(5) 議案第6号 令和4年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算
は全員賛成をもって承認することに決しました。

- (6) 議案第7号 令和4年度美浜町介護保険事業特別会計予算は全員賛成をもって承認することに決しました。
- (7) 議案第8号 令和4年度美浜町簡易水道事業特別会計予算は全員賛成をもって承認することに決しました。
- (8) 議案第9号 令和4年度美浜町集落排水処理事業特別会計予算は全員賛成をもって承認することに決しました。
- (9) 議案第10号 令和4年度美浜町公共下水道事業特別会計予算は全員賛成をもって承認することに決しました。
- (10) 議案第11号 令和4年度美浜町産業団地事業特別会計予算は全員賛成をもって承認することに決しました。
- (11) 議案第12号 令和4年度美浜町住宅団地事業特別会計予算は全員賛成をもって承認することに決しました。
- (12) 議案第13号 令和4年度美浜町道路用地取得事業特別会計予算は全員賛成をもって承認することに決しました。
- (13) 議案第14号 令和4年度美浜町上水道事業会計予算は全員賛成をもって承認することに決しました。

以上のおり審査を終了し、9日午後3時51分本委員会を閉会しました。

これをもって、予算決算常任委員会の委員長報告を終わります。